

社会福祉法人大阪社会医療センターの開設と歴史について

【日時】令和6年2月17日(土) 午後2時～4時

社会福祉法人大阪社会医療センターは、あいりん地域（釜ヶ崎）において、不安定な就労状況や経済状況にある方々に必要な医療と福祉を提供することを目的として、昭和45年(1970)年に財団法人として設立されました。

設立時より『無料低額診療施設の経営』『医療・福祉に関する相談及び支援』『社会医学的調査研究』を3つのミッションに掲げ、経済的理由などで受診できない人に対して医療を提供するとともに、相談・支援を実施。地域の状況を調査研究し、生活環境からも患者の総合的な把握を行ってきました。これらの取組みは、あいりん地域の社会医学的調査を精力的に実施し、毎年報告書を公表する中で、あいりん地域対策の方向付けにも大きな功績を残しました。

また、初代病院長である本田良寛^{よしひろ}医師は日雇労働者への献身的な医療従事ぶり「昭和の赤ひげ先生」と慕われ、医療費を払えない患者に対して「ある時払いの催促なし」という方式の診療体制を構築しました。

本講座では、あいりん地域において、大阪社会医療センターが果たしてきた役割と歴史について学びます。

【講師】大阪社会医療センター附属病院 精神保健福祉士 奥村 晴彦 氏

あいりん総合センター内旧病院



新病院外観



本田良寛医師



【会場・問合せ先】

大阪市社会福祉研修・情報センター 4階 会議室
住所：〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
電話：06-4392-8201

【定員】40人(先着順)

【対象者】

大阪市内在住・在学・在勤であればどなたでも参加可能

【申込方法】

申込欄に記入のうえ、ホームページ・FAX・郵送・持参・電話で受付

【申込締切】

2月7日(水) 午後5時必着 ※定員に達し次第締切

本研修は、感染症対策を講じたうえで実施する予定です。詳しくはホームページにてご確認ください。

「社会福祉法人大阪社会医療センターの開設と歴史について」 FAX:06-4392-8272

(ふりがな) 名前		年齢	歳
		職業	
住所	〒 —		
連絡先	携帯・自宅		
ご要望	車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料などが必要な方は、その旨ご記入ください。		